

【県内留学について】

知事： 「県内留学」についてですけど、私は正直なところ、最初の案のほうがいいのではないかと思ったんですけど、やはり学校の負担が大きいと先生に言われましたか？

生徒： はい。

知事： そうですか。この県内留学は、要するにこういうことですか？ 例えば、普通科の生徒が、農業高校に行って体験したり、農業高校の生徒が普通科に行っているいろんな勉強したりという、そういう交流を県内高校でできるようにしたらいいのではないか、ということですか。

生徒： はい。

知事： なるほど。確かに面白いかもしれません。先ほど、一次産業の担い手が少ないという話をしたでしょう。一次産業に就こうとする若い人はすごく少ないんです。だけど、若い人たちに農業体験とかしてもらってアンケートをとると、ものすごく好評なんです。やってみるとすごく楽しかったという人が多い。

それから林業なんかでも、木がバーンと倒れていくときの感触がたまらんとか言って、病みつきになったりする人がいるぐらいなんです。

そういうやってみると面白いという人がいることもあり、一次産業の担い手を確保するため、中学生や高校生にできるだけ林業体験、農業体験してもらいましょうと、一生懸命取り組みを進めているんです。だけど、この県内留学はそれだけにとどまらず、お互い、例えば工業高校のところに勉強に行って、工業について勉強しようとかそういう相互の交流ができるようにしましょうということですね。もしかしたら、教育の点において、ものすごく役に立つかもしれません。進度の差の問題を心配しておられたようだけど、相互にお互いに体験するっていうことからすれば問題ないのかもしれない。英語の何々について教科書を読みましようとか、そういうことをするわけではないでしょう。だとすれば、面白いかもしれないなと思いましたね。

1つだけ学力向上について話をしたいと思いますが、やっぱりアンケート調査をしたら321人中117人が高知県に足りないもの、「学力」と回答しました。

高知県で学力テストを、平成19年、平成20年、平成21年度と3年間実施し、全国でずば抜けて低い46番だった。最初の年は私立学校にも参加していただきましたが、私立学校を入れても46番は変わりません。体力テストも、全国で47番だった。いじめ、不登校の出現率は全国ワースト1位、47番でした。したがって高知県は「学力」のみならず、教育自体をどう良くしていくのかということが、全県的な大きな課題なんです。だけど、今良くなりつつあるのも確かです。

ですが、学力をつけるっていうことはどういうことでしょうか。すごく並大抵なことではないだろうかと私は思います。そんなに簡単に勉強ができるようになるわけではない。けどもっと言えば、何を勉強したらいいのかわからないというのが、一番難しいところじゃないかなと思うんです。

僕は、高校3年生ぐらいのときは、真面目に座って話を聞いたりするようなタイプではなく、こういう時に寝ていたりとかするような高校生でもありました。高校生のとき、あまり物事に一生懸命取り組もうとしてなかった時期があります。それで、もの見事に失敗して、浪人して、青色吐息で必死になって勉強して、何とか大学とかが行くこともできました。むしろ大学になって、社会人になってからのほうが、もっと勉強するようになりました。当時、僕が一番苦しかったのは、何を勉強すればいいのか分からないというところだったと思うんです。

社会人になれば、いろんな問題を解決していく、新しい企画を練っていくために自分で課題を設定して、それに向かって自分で答えを見つけていくことを徹底してやっついていかないとはいけません。それを自分でやらないとはいけないけど、それに向かってどのようにして勉強するのかということ、それ自体を学ぶことが、今、中学校、高校生の時代には一番大きいことなのではないかと思います。それが身につけていると、大学生になっても、社会人になっても自分で学習していくことのできる、いつまでも伸び続けることのできる人間になれると思うんです。

学力の問題に関して取り組んでいるのは、中学生、それから小学生にそのような力をつけてほしいからです。今、小学校4年生から中学校3年生ぐらいまで算数、数学で、必ず毎日、授業中もしくは放課後に勉強できる学習教材を子どもたちに渡すようにしています。それから、国語についても、この4月ぐらいからそういう取り組みを始めるようにしています。学力の問題を解決するには、毎日しっかり勉強し、そして、その分からないことを1個、1個身に付けていくことが必要だと思います。その積み重ねなんだろうと思っています。

一昨年までは大変でした。30分未満しか勉強しませんという子どもの割合が、高知県は全国平均の2倍あった。高知市は3倍だった。けれど、去年の学力テストの段階からそういう調査をすると、全国平均並みまで改善をしました。さっき言ったような形で、少しずつ宿題とかやるようになってきたから、だんだんよくなっているんです。取り組みを進めればよくなっていきますが、高知県内全部で学力を上げていくということは簡単なことではありません。

そういう意味において、私はこの県内留学の制度は学力向上というより、たぶん視野を広げるために、自分が日ごろ経験したことのないことをいろいろ学んでみる、実地で体験してみるために、もしかしたら有効な制度なのかもしれないなと思いました。

県内留学には、学力向上以外で他にねらいはありましたか？

生徒： さっき知事が言ったとおり、視野を広めるといふ目的はあります。

知事： では、学芸高校の皆さんはどのような体験をしてみたいと思いますか？ 大学とかが行って、ちょっと1日、2日勉強してみたいと思う人はいませんか？

もしかしたら高校生の皆さんにも、大学でオープンキャンパスをやる機会が県内で増えると、勉強になっていいかもしれませんね。そんなこともいろいろ考えていき

と思います。